

## 1 私立高校学校説明会より

先日、教員向けの私立高校学校説明会（12校）に参加してきました。今年度の入試について大きく3つのポイントをお知らせします。

### ①基準について

- ・昨年度と同様に、**3年生の内申点や偏差値（5教科or3教科）を参考にする学校、内申点や偏差値に特別活動等の記録から加点する学校等**、学校ごとに様々な対応がみられます。また、上記のように事前の個別相談で合格の可能性が高まる学校もあれば、当日の点数で合否が決まる学校もあります。  
※内申点 or 偏差値が基準をクリアする（ことで、可）。内申点&偏差値が基準をクリアする（ことで、可）。など、学校によって対応が分かれています。
- ※偏差値については、中学校以外で行われる外部テストや学校で行う南部テスト等を参考にします。いずれかの試験で1回でも基準をクリアする。（していれば、可。）または、2回基準をクリアする（ことで、可）。2回の平均が基準をクリアする。（していれば、可。）とする等、学校によって対応が分かれています。
- ※加点制度がある学校では、学校説明会等の進学イベントに参加することで、加点をしてくれる学校もあります。加点になりそうな資料は是非個別相談にもってきてくださいとのことでした。

### ②各高校の合否について

- ・受験したコースのみで合否が決定する。上位クラスのコースでチャレンジし、基準を満たす場合には合格、満たさない場合は下位クラスのコースで合否を決定する。逆に下位クラスのコースを受けて、上位のコースを合格する。受験を終えてから点数に応じてコースを選択する。1つの高校を複数回受験することができる等、学校ごとに合否の方法が異なります。
- ※試験日を複数日設定している学校で、1日目、2日目で試験の難易度が違う学校もありました。また、複数回受験することで有利になるという高校もありました。

### ③その他

- ・多くの学校で、学業での特待生制度がありました。特待生になると学費を免除される等のメリットがあります。スポーツによる特待生制度がある学校もあります。
- ・私立学校では、朝勉強や放課後の補習、休日の補習や夏期冬期の講習などを充実させ、学校内での進路指導（学校完結型進路指導）を目指している学校が多くありました。
- ・コロナ対応で、追試の日にちを設けている学校もありました。

上記の通り、各高校で対応が異なりますので必ず学校説明会や個別相談等で確認しましょう。

## 2 私立入試ってどんな仕組みなの？

単願入試・併願入試・一般入試の3つが主な入試形態です。このほかにも入試形態があり、学校によって違うので、よく確認しましょう。

### ①推薦入試（単願）

合格したら必ず入学することが条件の入試です。高校側が設定した中学の成績基準などをクリアしていれば、入試相談や個別相談を通して、出願の許可を得ることができます。この形式の受験では、基本的に不合格者はできません。ただし、難関校や何か問題があった場合は、その限りではありません。

### ②推薦入試（併願）

他の学校も受験ができる入試形態です。上記1の①の基準クリアを条件に、入試相談や個別相談を通して、出願が認められるのが一般的です。単願入試ほどではありませんが、有利な条件の入試なので合格する可能性は大きくなっています。公立高校を第一志望とする受験生に、公立高校の合格発表まで入学のための費用の納入期限を待つなどの制度を設けている学校もあり、合格を確実に確保したい受験生に大いに活用されています。

### ③一般入試

当日の入学試験の結果で合格か不合格かが決まる実力勝負の試験です。基本的には、内申点などの調査書点がどのように影響するかははっきりしないので、**当日の試験結果で決まると考えておきましょう。**試験教科は、英語・数学・国語の3教科が一般的です。私立高校の一般入試は全体的に難易度が高く、とくに最難関と呼ばれる進学校では、教科書レベルを超えた難しい問題が出される傾向にあるので、合格するためには特別な対策が必要です。